

レベル新人：看護教育機関を卒業して初めて就労する看護職員であり、職場の指導や教育を受けながら看護実践を行うことができる

レベルⅠ：新人看護職員研修を修了し、今までの経験を振り返り学びを深めながら看護実践を行うことができる

レベルⅡ：自己の経験について評価し、担当する患者を通して看護観を養いながら看護実践を行うことができる

レベルⅢ：自己の経験から後輩指導ができ、優れた看護実践ができる

レベルⅣ：所属単位において卓越した看護を実践し、組織的に広範囲な役割を遂行できる

		レベル新人	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ
看護実践能力	定義	必要に応じ助言を得て実践する	標準的な実践を自立して行う	個別の状況に応じた判断と実践を行う	幅広い視野で予測的に判断し実践を行い、ロールモデルとなる	より複雑な状況において創造的な実践を行い、組織や分野を超えて参画する
	専門的・倫理的・法的な実践能力	目標 倫理的・法的規範に基づき実践する	目標 倫理的・法的規範に基づき実践する	目標 個別の状況において倫理的・法的判断に基づき実践を行い、規範からの逸脱に気づき表明する	目標 倫理的・法的判断に基づき認識した課題や潜在的リスクの解決に向け行動しロールモデルを示す	目標 より複雑な状況において倫理的・法的判断に基づき行動し、倫理的かつ法律を遵守した実践のための体正整備に組織や分野を超えて参画する
	行動目標	アカウンタビリティ □自身の役割や能力の範囲を認識し、自立して行動・説明し実践への責任を持つ	□自身の役割や能力の範囲を認識し、自立して行動・説明し実践への責任を持つ	□状況に応じ自ら判断して行動・説明し実践への責任を持つとともに、責任を果たす行動における自身の課題に気づき他者に共有する	□責任を果たすことについて同僚や組織における課題やリスクに気づき、解決に向けて行動する	□より複雑な関係者が多様な場面においても責任を果たし、組織や分野を超えて参画する
		倫理の実践 □倫理指針等と目の前の実践を結びつけて理解し、倫理的指針に基づき行動する	□倫理指針等と目の前の実践を結びつけて理解し、倫理的指針に基づき行動する	□個別の状況においても自身で判断し倫理的に行動するとともに、倫理的問題が生じている可能性に気づき他者に共有する	□顕在的・潜在的な倫理的問題について問題提起し、同僚に働きかけモデルを示す	□より複雑かつ多様な顕在的・潜在的な倫理的問題について、解消のために組織や分野を超えて参画する
		法的実践 □法令に基づき取るべき行動・取ってはいけない行動を知り、法令を遵守し行動する	□法令に基づき取るべき行動・取ってはいけない行動を知り、法令を遵守し行動する	□個別の状況においても法令を遵守し行動するとともに、法令に違反する可能性がある行動に気づき他者に共有する	□法令に違反するリスクがある同僚の行動や組織の状況に対し問題提起する	□より複雑な状況においても法令を遵守し、法令に違反するリスクがある行動や状況に対し組織を超えて参画する
	臨床実践能力	目標 基本的な看護手順に従い、必要に応じ助言を得て看護を実践する	目標 標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	目標 ケアの受け手に合う個別の看護を実践する	目標 幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する	目標 より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択し、QOLを高めるための看護を実践する
		ニーズを捉える力 □助言を得てケアの受け手や状況（場）のニーズをとらえる	□ケアの受け手や状況（場）のニーズをとらえる	□ケアの受け手や状況（場）の特性を踏まえたニーズをとらえる	□ケアの受け手や状況（場）を統合しニーズをとらえる	□ケアの受け手や状況（場）の関連や意味をふまえたニーズを捉える
		ケアする力 □助言を得ながら、安全な看護を実践する	□ケアの受け手や状況（場）に応じた看護を実践する	□ケアの受け手や状況（場）の特性を踏まえた看護を実践する	□様々な技術を選択・応用し看護を実践する	□最新知見を取り入れた創造的な看護を実践する
		意思決定を支える力 □ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る	□ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる	□ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる	□ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に伴う揺らぎを共有でき、選択を導くことができる	□複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種もめめた調整の役割を担うことができる
	リーダーシップとマネジメント能力	目標 基本的な業務手順に従い、必要に応じ助言を得て実践する	目標 業務手順や組織における標準的な計画に基づき自立して実践する	目標 個別の状況における判断と実践を行う	目標 組織における安全かつ効率的・安定的な実践のための体制整備に主体的に参画し、同僚を支援する	目標 安全で効率的・安定的な実践を常に提供できるよう、組織や職種を超えた調整や教育に主体的に参画する
		業務の委譲・移譲と管理・監督 □看護チーム内の他職種の法的権限や役割を知り、助言を得て、業務を委譲し、委譲した業務の実施確認をする	□看護チーム内の他職種の法的権限や役割を理解し、自立して業務を委譲し、委譲した業務の実施確認をする	□イレギュラーな状況においても看護チーム内で適切な業務の委譲および実施確認をするとともに、他職種の法的権限や役割を理解し、必要時業務を移譲する	□組織において、看護チーム内および他職種への業務の委譲・移譲や業務遂行のプロセスが安全かつ効率的に行われるよう、マニュアル等の見直しに参画する	□業務の委譲・移譲や業務遂行のプロセスが安全かつ効率的に行われるよう、組織や職種を超えた調整による体制整備に主体的に参画する
		安全な環境の整備 □助言を得て、安全な環境整備に関わるルールに基づき行動する	□安全な環境整備に関わるルールに基づき自立して行動する	□事故や問題の発生時、人々や同僚の安全を確保し影響を最小限にする行動をとる	□事故や問題の発生時にも主体的に行動し同僚を支援するとともに潜在的なリスクに対する平常時からの危機管理体制整備に参画する	□事故や問題の発生時・平常時の危機管理体制の整備や見直しに、組織や職種を超えて主体的に参画する
		組織の一員としての役割発揮 □自身の業務を時間内・時間通りに行うとともに、組織（チーム等）の一員としての役割を理解する	□組織や業務実施の標準的な計画に基づき、業務の優先順位や効率的な時間管理を自立して行うとともに、組織（チーム等）の活動に参加し同僚と協力する	□業務の実施の中で一時的にリーダーとしての役割を担い組織（チーム等）の目標達成のための業務の管理や改善を行う	□組織の目標達成のための業務改善や同僚の支援を行う組織のリーダーとしての役割を担い、改善すべき点は同僚にフィードバックする	□業務改善や人材育成のためにリーダーとしての役割を担い目標達成に参画するとともに、組織を超えた変革や人材育成に役割を發揮する
	専門性の開発能力	目標 専門職としての自身の質の向上を図る	目標 専門職としての自身の質の向上を図る	目標 自身の質の向上を継続するとともに、組織の看護の質向上や組織の新人・学生の指導に関わる	目標 幅広い視野と予測に基づき自身と組織の質を更に向上するとともに看護の専門職組織の活動に関わる	目標 未来を志向し、看護の専門職として、組織や看護・医療を超えて社会の変革・創造や人材の能力開発に貢献する
		看護の専門性の強化と社会貢献 □看護の専門職としての自覚と社会から求められている役割の認識に基づき行動する	□看護の専門職としての自覚と社会から求められている役割の認識に基づき行動する	□保健・医療・福祉に関わる専門職としての自覚をもって行動し、組織の新人・学生のロールモデルとなる	□保健・医療・福祉の制度や政策に広く視野をもって専門職組織（職能団体や学会等）の活動を通じた提言活動や看護学の発展に関わる	□専門職組織（職能団体や学会等）に参画し、未来を見据えた制度・政策の改善・決定や、組織や看護・医療を超えた能力開発に関わる
		看護実践の質改善 □科学的根拠に基づき行動し、自身の看護実践を定期的に見直し質向上を図る	□科学的根拠に基づき行動し、自身の看護実践を定期的に見直し質向上を図る	□エビデンスに基づき自身や組織の看護実践の質の評価と改善を行うとともに、組織の新人・学生の指導を行う	□新たな知見や技術を取り入れ実践し、成果を可視化することでエビデンス構築に貢献するとともに、同僚の学習や能力開発を支援する	□看護・医療を超えた新たな知見や技術を活用し組織を超えて未来を見据えた変革・創造を主導・発信するとともに、看護実践の質向上を支援する
		生涯学習 □自身の実践や能力の内省・評価や課題の整理を行い、適宜同僚等からのフィードバックも得ながら、学習を自ら計画的に行う	□自身の実践や能力の内省・評価や課題の整理を行い、適宜同僚等からのフィードバックも得ながら、学習を自ら計画的に行う	□自身に必要な知識や経験等を判断し多職種と共に学び合うとともに、自身の今後のキャリアを描く	□自身のキャリアの中長期的展望を描き、その展望に応じた多様な学びを継続し同僚のモデルとなる	□自身のキャリアに応じた学び直しや学習機会を必要に応じて行うとともに、組織や看護・医療を超えて人材の生涯学習を支援する
	目標	自身のウェルビーイングの向上 □自身のウェルビーイングの維持を図る	□自身のウェルビーイングの維持を図る	□心身の状況を判断してセルフケアを行い、自身のウェルビーイングを維持向上する	□自身や周囲の状況の変化を予測しながら自身のウェルビーイングの維持向上を継続し、同僚のモデルとなる	□自身のウェルビーイングの維持向上を継続するとともに、組織や看護・医療を超えて人材のウェルビーイングに創造的に関わる

			レベル新人	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ
組織的役割遂行能力	目標		指導を受けながら、看護職員として必要な基本的姿勢と態度を身に付ける	看護職員として必要な基本的姿勢と態度を身に付ける	その日のリーダー、夜勤リーダー、サブリーダーの役割を通して、基本的姿勢や態度を振り返り学びを深める行動に繋げる	チームリーダー、採用者指導などの役割を果たすことで基本的姿勢や態度を振り返り学びを深め行動に繋げる	あらゆる場面でリーダーとなって活躍し、専門職としての役割モデルを発揮する
			メンバーの役割を理解し、自ら指導・助言を求め看護者の役割を習得する	看護実践を通して看護を深める	症例カンファレンスなど多くの看護実践を通して自己の看護観を見出す	部署内の看護について評価し、改善策を提案する	部署内の看護について評価し、創造的な看護実践に取り組む
			指導を受けながら、科学的・法的根拠を理解し、チーム医療における自らの役割を認識した上で管理的側面を実施する	科学的・法的根拠を理解し、チーム医療における自らの役割を認識した上で管理的側面を実施する	管理的側面の実施について後援を支援する	指導を受けながら、看護単位における管理的側面の課題を明確にし、目標を示しながら管理する	看護単位における管理的側面の課題を明確にし、目標を示しながら管理する
	基本姿勢と態度	行動目標	□医療倫理・看護倫理に基づき、人間の生命・尊厳を尊重し患者の人權を擁護することができる	□人間の生命・尊厳を尊重し患者の人權を擁護することについて深めることができる	□人間の生命・尊厳を尊重し患者の人權を擁護しながら実践できる	□患者の人權擁護について指導できる	□患者の人權擁護について評価し改善策が提案できる
			□守秘義務を厳守し、プライバシーに配慮することができる	□自己の守秘義務を厳守する行動やプライバシーに配慮することについて考え深めることができる	□守秘義務を厳守する行動やプライバシーに配慮することに対して対象者と良好な関係作りができる	□守秘義務を厳守する行動やプライバシーに配慮することについて指導できる	□守秘義務を厳守する行動やプライバシーに配慮することの役割モデルを発揮しながら育成できる
			□指導を受けながら、病院及び看護部の理念、組織と機能について理解し行動できる	□病院及び看護部の理念、組織と機能について理解し行動できる	□理念、組織と機能に基づいた行動ができる自己評価できる	□病院及び看護部の理念、組織と機能について新人職員に説明できる	□部署内メンバーの理念に基づいた行動、組織と機能について応じた行動を評価し改善策が提案できる
			□指導を受けながら、チーム医療の構成員としての役割を理解し協働できる	□チーム医療の構成員としての役割を理解し協働できる	□チーム医療の構成員としての自己の役割を明確にし協働できる	□チーム医療の構成員としての各個人の役割を明確にし協働できるように指導できる	□部署内のチーム医療の構成員としての役割・協働状況について評価し改善策が提案できる
	安全管理	行動目標	□同僚や他の医療従事者と安定した適切なコミュニケーションをとることができる	□自己のコミュニケーション方法について振り返り、安定した適切な方法を検討できる	□指導を受けながらアサーティブコミュニケーション・ポジティブアプローチについて学び実践できる	□アサーティブコミュニケーション・ポジティブアプローチについて指導できる	□部署内のコミュニケーション方法について評価し改善策が提案できる
			□施設における医療安全管理体制について理解できる	□指導を受けながら、安全管理対策に基づき行動できる	□安全管理対策に基づき行動できる	□安全管理対策に関する指導ができる	□部署内の安全管理対策について評価し改善策が提案できる
			□インシデント事例やアクシデント事例の報告を速やかに行うことができる	□自己のインシデント事例やアクシデント事例の報告を振り返り学びを深めることができる	□インシデント事例やアクシデント事例の報告が繰り返されないよう行動できる	□インシデント事例やアクシデント事例の報告が繰り返されないよう指導できる	□部署内のインシデント事例やアクシデント事例の報告について評価し改善策が提案できる
			□プライバシーを保護して医療情報や記録物を取り扱うことができる	□自己の医療情報や記録物の取り扱いについて振り返り、学びを深めることができる	□プライバシーを保護して医療情報や記録物を取り扱うことについて自己評価できる	□医療情報や記録物の取り扱いについて指導できる	□部署内の医療情報や記録物の取り扱いについて評価し改善策が提案できる
	情報管理	行動目標	□指導を受けながら、看護記録の目的を理解し、正確に記録できる	□看護記録の目的を理解し、正確に記録できる	□担当する患者の看護記録を通して、自己評価と改善ができる	□部署内の看護記録を監査し改善策を提案できる	□部署内の看護記録の作成状況を監査し改良に向けた指導ができる
			□業務の基準・手順に沿って実施できる	□業務基準・手順に沿った実施について振り返り学びを深めることができる	□業務基準・手順に沿った実施について自己評価できる	□業務基準・手順に沿った実施について指導できる	□部署内の業務の基準・手順に沿った実施について評価し改善策が提案できる
			□指導を受けながら、複数の患者の看護ケアの優先度を考えて行動できる	□複数の患者の看護ケアの優先度を考えて行動できる	□その日のリーダー、夜勤リーダー、サブリーダー業務を通してチーム内の業務調整ができる	□チームリーダーの業務を通して部署内の業務調整ができる	□様々なリーダー業務を通して部署内の業務調整ができる
			□業務上の報告・連絡・相談を適切に行うことができる	□業務上の報告・連絡・相談について振り返り学びを深めることができる	□業務調整などの管理を通して、報告・連絡・相談について自己評価できる	□業務上の報告・連絡・相談について指導できる	□部署内の業務上の報告・連絡・相談について評価し改善策が提案できる
	業務管理	行動目標	□指導を受けながら、決められた業務を時間内に実施できるように調整できる	□決められた業務を時間内に実施できるように調整できる	□自己の時間管理について評価し改善策を見出すことができる	□時間管理について指導できる	□部署内の時間管理について評価し改善策が提案できる
			□指導を受けながら、薬剤を適切に請求・受領・保管できる（含、毒薬・劇薬・麻薬）	□薬剤を適切に請求・受領・保管できる（含、毒薬・劇薬・麻薬）	□薬剤（含、毒薬・劇薬・麻薬）管理方法について自己評価できる	□薬剤（含、毒薬・劇薬・麻薬）管理方法について指導できる	□薬剤（含、毒薬・劇薬・麻薬）管理方法について評価し改善策が提案できる
			□指導を受けながら、血液製剤を適切に請求・受領・保管できる	□血液製剤を適切に請求・受領・保管できる	□血液製剤の取り扱いについて自己評価できる	□血液製剤の取り扱いについて指導できる	□部署内の血液製剤の取り扱いについて評価し改善策が提案できる
			□指導を受けながら災害時対応マニュアルが理解できる	□災害発生時（地震・火災・水害・停電等）にはメンバーとしての自己の役割がイメージできる	□災害発生時（地震・火災・水害・停電等）には決められた初期行動が円滑にできるように、その日のリーダー業務を通してイメージトレーニングできる	□災害発生時（地震・火災・水害・停電等）には決められた初期行動が円滑にできるよう指導し、評価および改善策を通してトレーニングできる	□災害発生時（地震・火災・水害・停電等）には決められた初期行動が円滑にできるよう指導し、評価および改善策が提案できる
	災害・防災管理	行動目標	□施設内の消火設備の位置と避難ルートを把握し患者に説明できる	□患者への説明方法について振り返り学びを深めることができる	□患者への説明方法について自己評価できる	□患者への説明方法について指導できる	□部署内の患者への説明方法について評価し改善策が提案できる
			□指導を受けながら、規定に沿って適切に医療機器、器具を取り扱うことができる	□規定に沿って適切に医療機器、器具を取り扱うことができる	□医療機器、器具の取り扱いについて自己評価できる	□医療機器、器具の取り扱いについて指導できる	□部署内の医療機器、器具の取り扱いについて評価し改善策が提案できる
			□指導を受けながら、看護用品・衛生材料の整備・点検を行うことができる	□看護用品・衛生材料の整備・点検を行うことができる	□看護用品・衛生材料の整備・点検について自己評価できる	□看護用品・衛生材料の整備・点検について指導できる	□部署内の看護用品・衛生材料の整備・点検について評価し改善策が提案できる
			□指導を受けながら、患者の負担を考慮し、物品を適切に使用できる	□患者の負担を考慮し、物品を適切に使用できる	□物品の適切な使用について自己評価できる	□物品の適切な使用について指導できる	□部署内の物品の適切な使用について評価し改善策が提案できる
	コスト管理	行動目標	□指導を受けながら、費用対効果を考慮して衛生材料の物品を適切に選択できる	□費用対効果を考慮して衛生材料の物品を適切に選択できる	□衛生材料の適切な物品選択について自己評価できる	□衛生材料の適切な物品選択について指導できる	□部署内の衛生材料の適切な物品選択について評価し改善策が提案できる
自己教育・研究能力	目標		生涯にわたる主体的な自己学習の継続の基本を理解し学習活動ができる	自己の課題を明らかにし学習活動を進めながら看護実践に活用し、研究的視点でも課題発見できる	支援を受けながらキャリア計画に応じた学習を進め、看護実践を振り返りながら看護研究に参加することができる	キャリア計画に応じた学習を進め、看護実践を振り返りながら看護研究に参加することができる	キャリア計画に沿った学習や研究的視点でモデルの役割を果たすことができる
			□自己評価及び他者評価を踏まえた自己の学習課題をみつめることができる	□自己評価及び他者評価を踏まえた自己の学習課題を深めることができる	□支援を受けながら、自己のキャリア計画を具体的にすることができる	□自己のキャリア計画に沿った課題を見つけることができる	□自己のキャリア計画を明確にし実現に向け行動できる
	行動目標		□指導を受けながら、学習の成果を自らの看護実践に活用できる	□学習の成果を自らの看護実践に活用できる	□支援を受けながら、看護専門職人としての学びを職場内で実践できる	□看護専門職人としての学びを職場内で実践できる	□看護専門職人としての学びを職場内で実践しながらモデルの役割を示すことができる
			□指導を受けながら、セルフコントロールについても理解を深めることができる	□セルフコントロールについて、自己を振り返り改善方向に進むことができる	□セルフコントロールについて、他者と意見交換することで自己の傾向を理解し改善報告に進むことができる	□セルフコントロールについて、自己の成長を他者と語り合い助言者としても行動できる	□セルフコントロールについて、モデルの役割となり、職場により良い影響をもたらすことができる
			□指導を受けながら、研究的視点を持って看護実践の中で課題を見つけることができる	□研究的視点を持って看護実践の中で課題を見つけることができる	□支援を受けながら、研究的取り組みをチームで計画し実践することができる	□研究的取り組みに参加し、院内・院外で成果を発表することができる	□研究的取り組みの成果を看護の質向上のために臨床で応用し評価することができる

*看護師のまなびサポートブックをもとに改訂